

SSD 安全消去

Parted Magic Forever

作成日: 2026年10月 6日
更新日: 2026年10月 9日

必要なもの

- USB メモリ (4 GB 以上)
- Rufus アプリ (後に、ダウンロード)
- Parted Magic Pro ツール (後に、ダウンロード)
- (可能であれば) インターネット接続

Rufus ダウンロード

下記 URL より、Rufus ポータル版をダウンロード

リンク	タイプ	プラットフォーム	サイズ	日付
rufus-4.15.exe	標準	Windows x64	1.9 MB	2026.06.30
rufus-4.15p.exe	Portable	Windows x64	1.9 MB	2026.06.30
rufus-4.15_x86.exe	標準	Windows x86	1.8 MB	2026.06.30
rufus-4.15_arm64.exe	標準	Windows ARM64	5.2 MB	2026.06.30

本手順書作成時は、バージョン 4.15 です

Parted Magic Forever ダウンロード

1. Web ブラウザで、下記 URL にアクセスし、ユーザー名とパスワードを入力
2. Parted Magic Forever (iso イメージファイル) をダウンロード

サインインしてください

<https://imc.tut.ac.jp>

ユーザー名:

パスワード:

ユーザー名(例): zz000

Index of /netinstall/PartedMagic				
	Name	Last modified	Size	Description
	Parent Directory.		-	
	README.txt	2026-10-08 09:51	324	
	pmagic 26.09 5.iso	2026-10-06 08:13	2.2G	

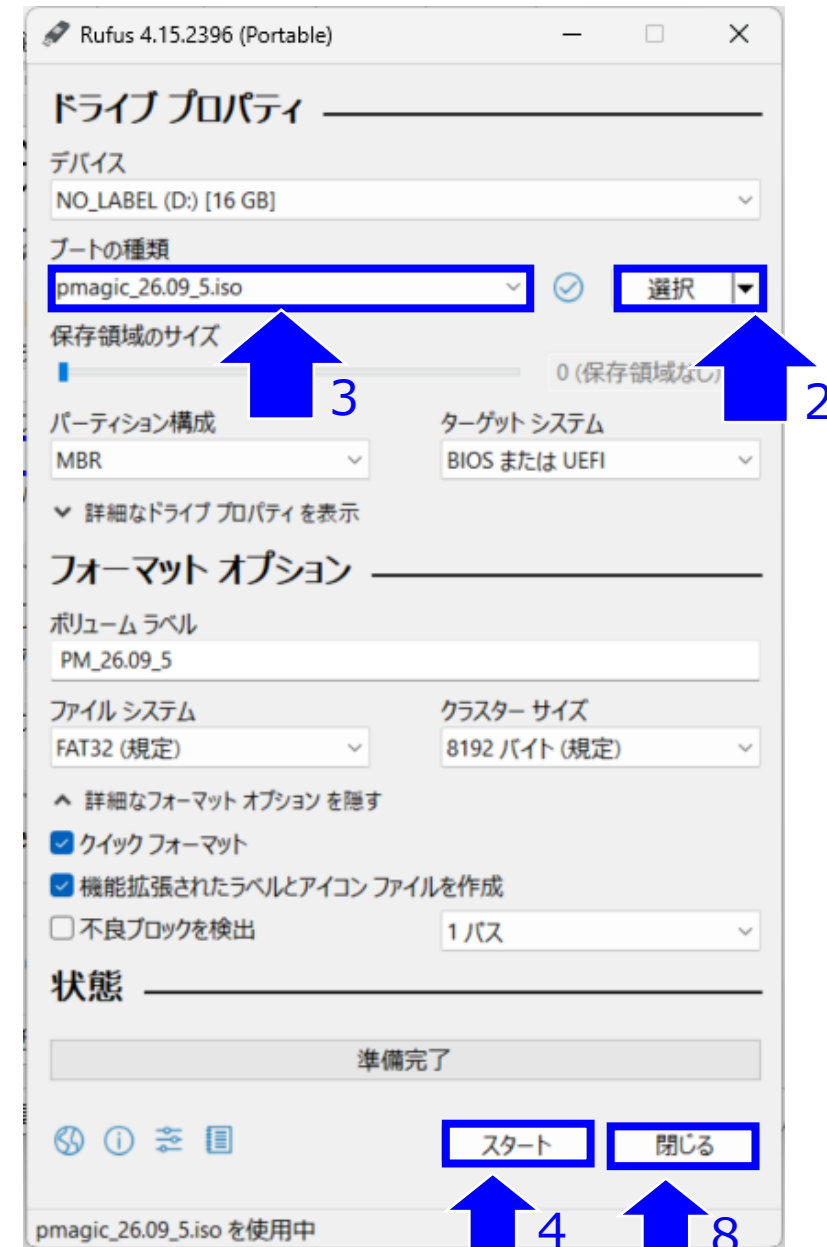
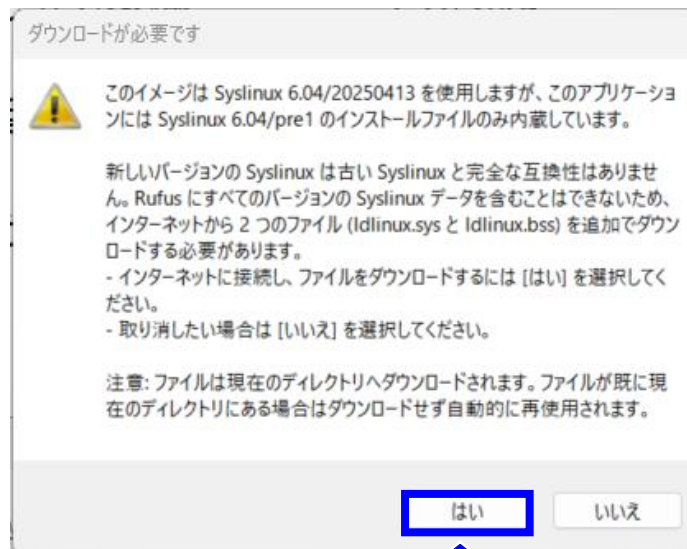
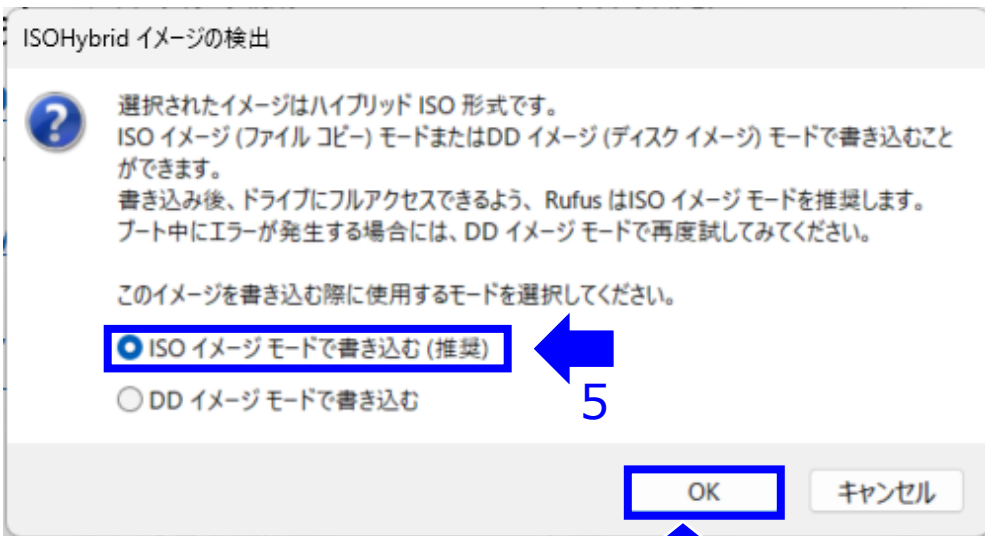
本手順書作成時は、バージョン 26.09 です

Parted Magic Forever ダウンロード
<https://imc.tut.ac.jp/netinstall/PartedMagic/>

USB メモリに、Parted Magic Forever を書き込む

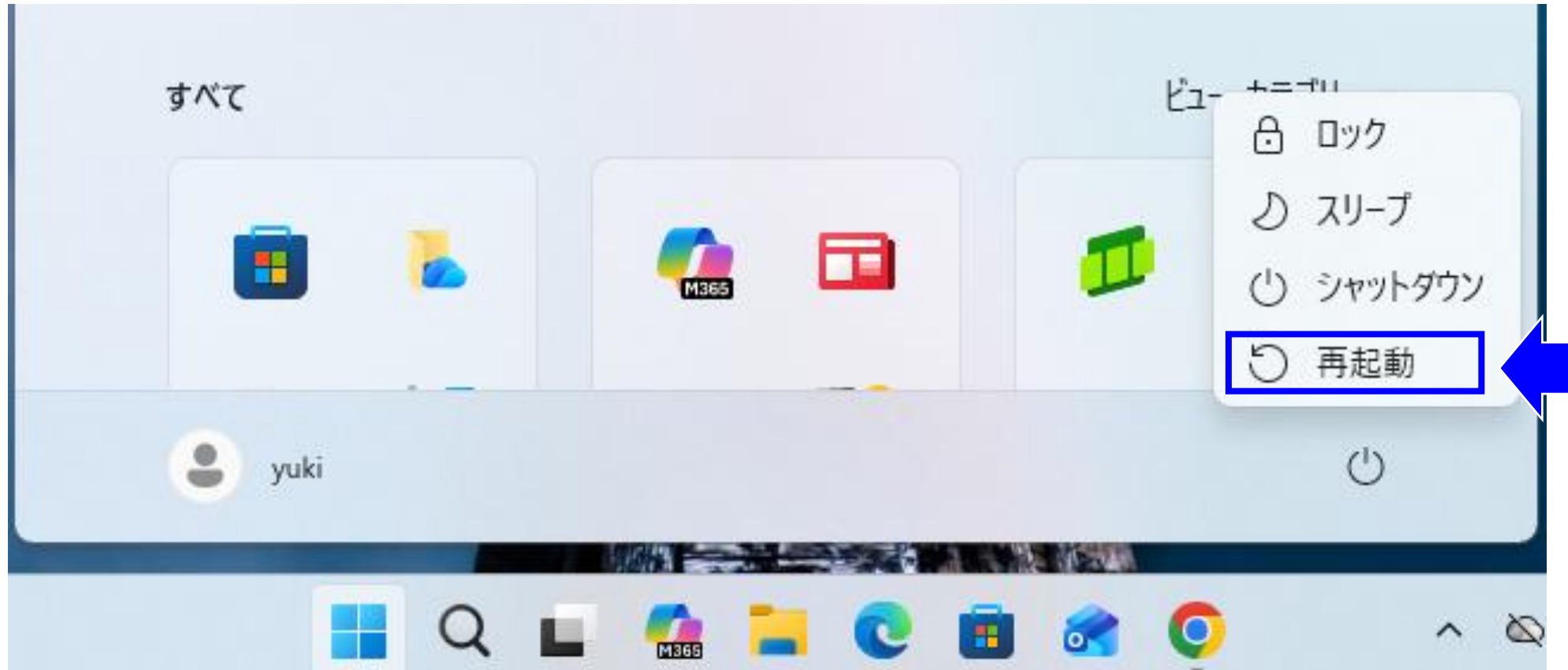
1. USB メモリを挿入し、認識
2. Rufus を実行し、[選択]ボタンを押下
3. Parted Magic Forever iso イメージファイルを選択
4. [スタート]ボタンを押下
5. [ISO イメージモードで書き込む(推奨)]を選択
6. [OK]ボタンを押下
7. [はい]ボタンを押下 ※1
8. 書き込み完了後は、[閉じる]ボタンを押下

※1: インターネット接続がない場合は、[いいえ]を選択



USB メモリから、OS 起動

[Shift]キーを押しながら、Windows 再起動



[デバイスの使用] を選択

オプションの選択



続行

終了して Windows 11
に進みます

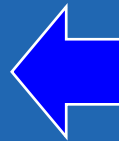


PC の電源を切る



デバイスの使用

USB ドライブ、ネットワーク接続、または
Windows リカバリ DVD を使います



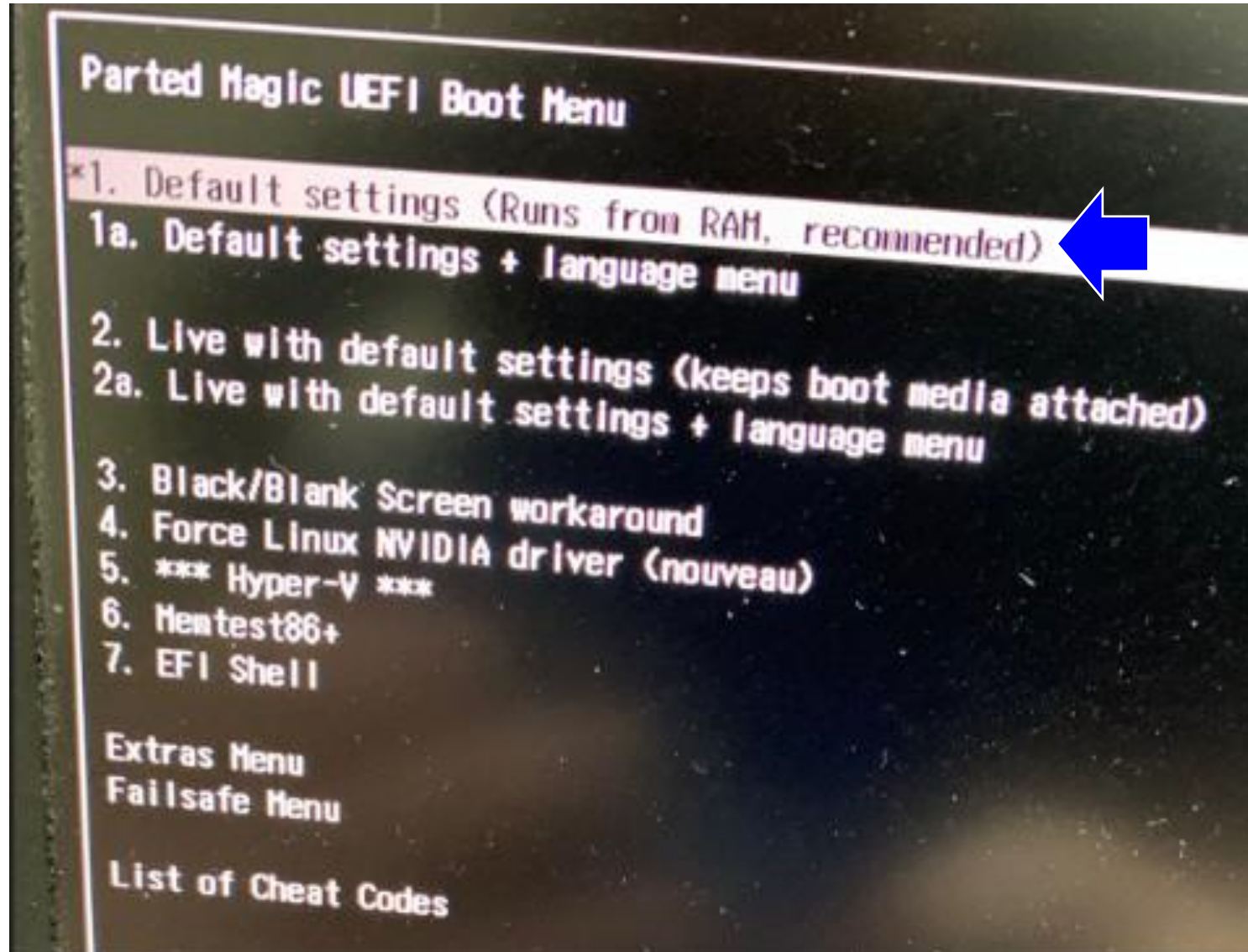
トラブルシューティング

PC を初期状態に戻すか、詳細オプションを
表示します

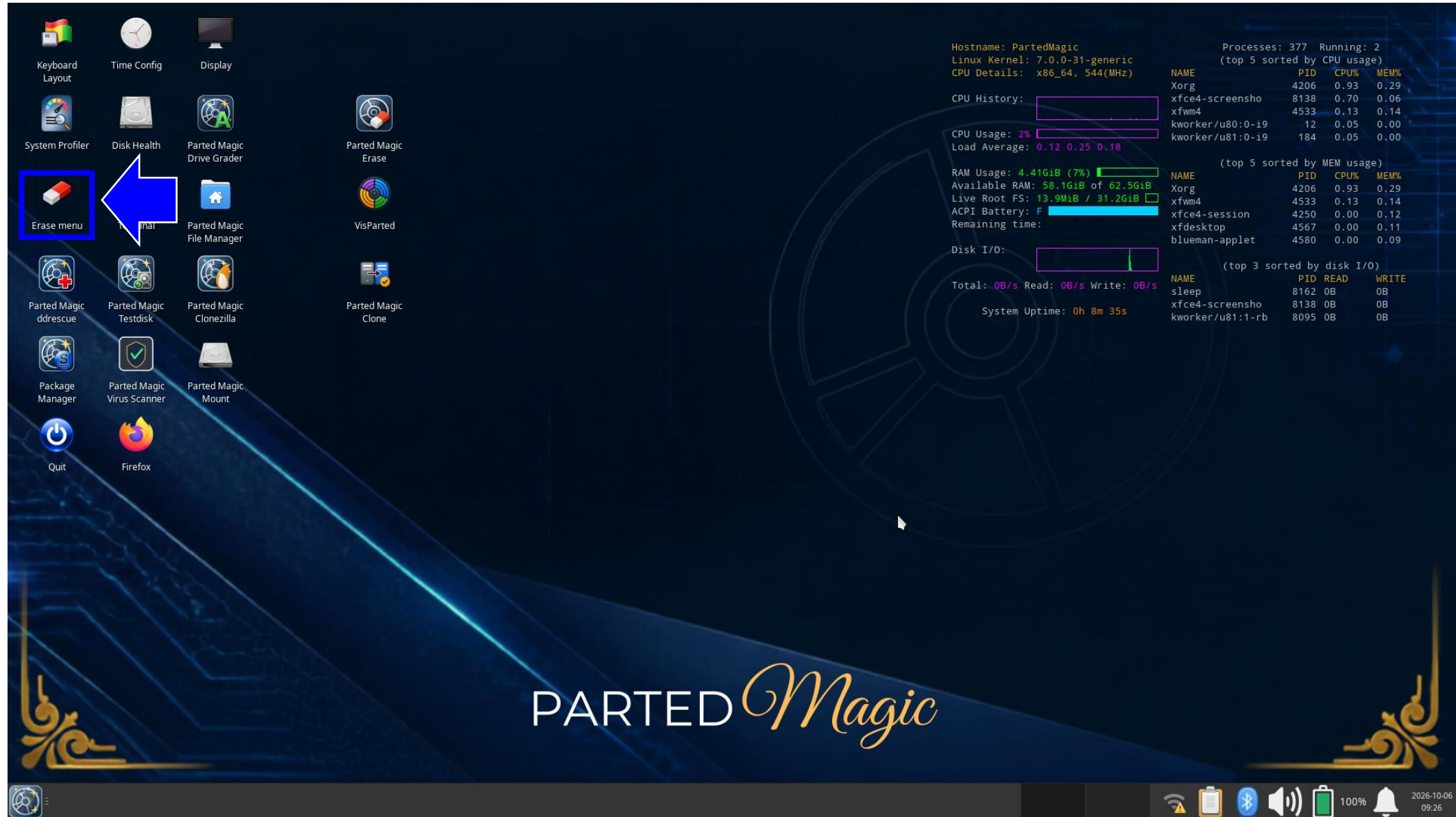
[Linpus lite] を選択



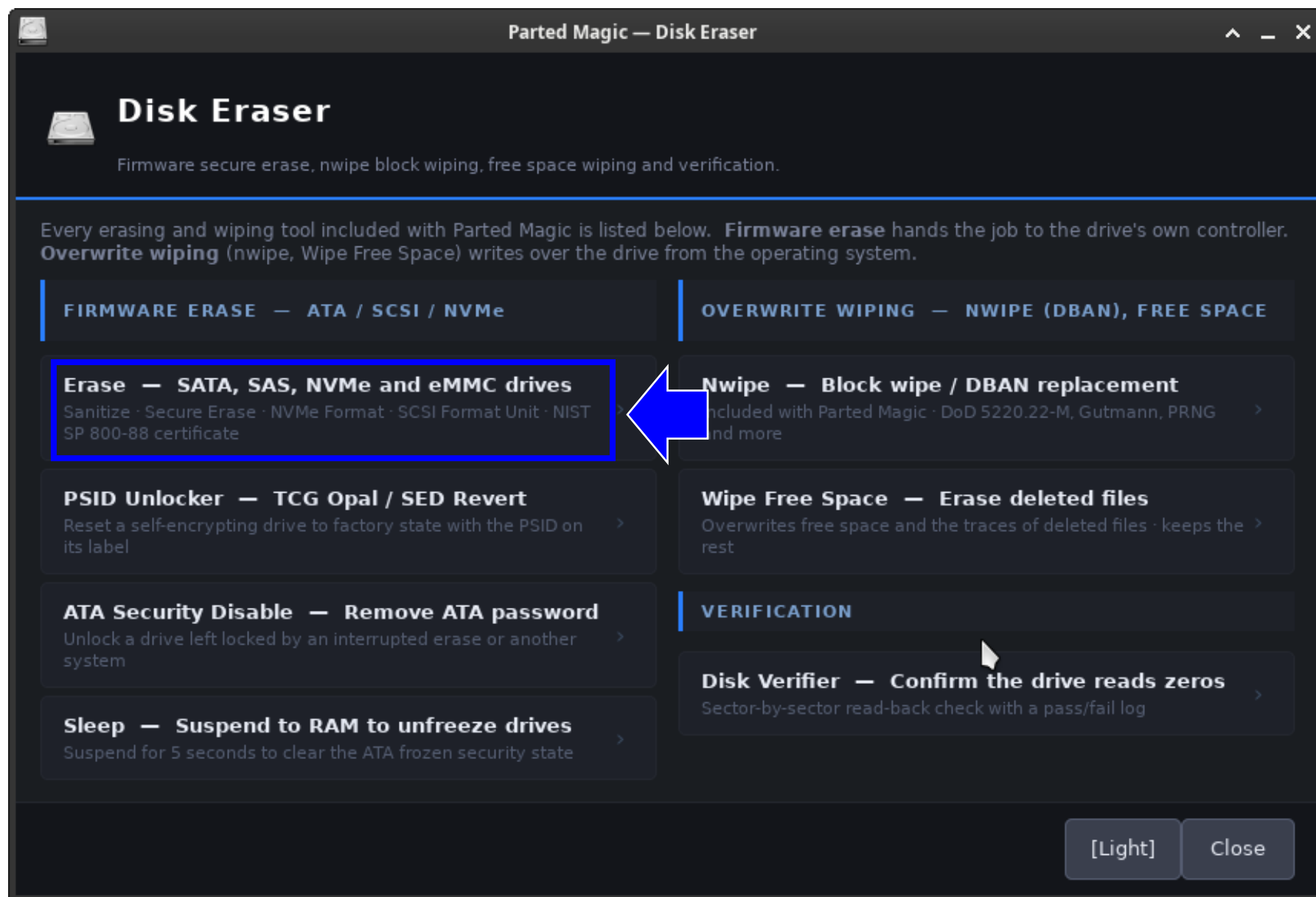
[1. Default settings] を選択



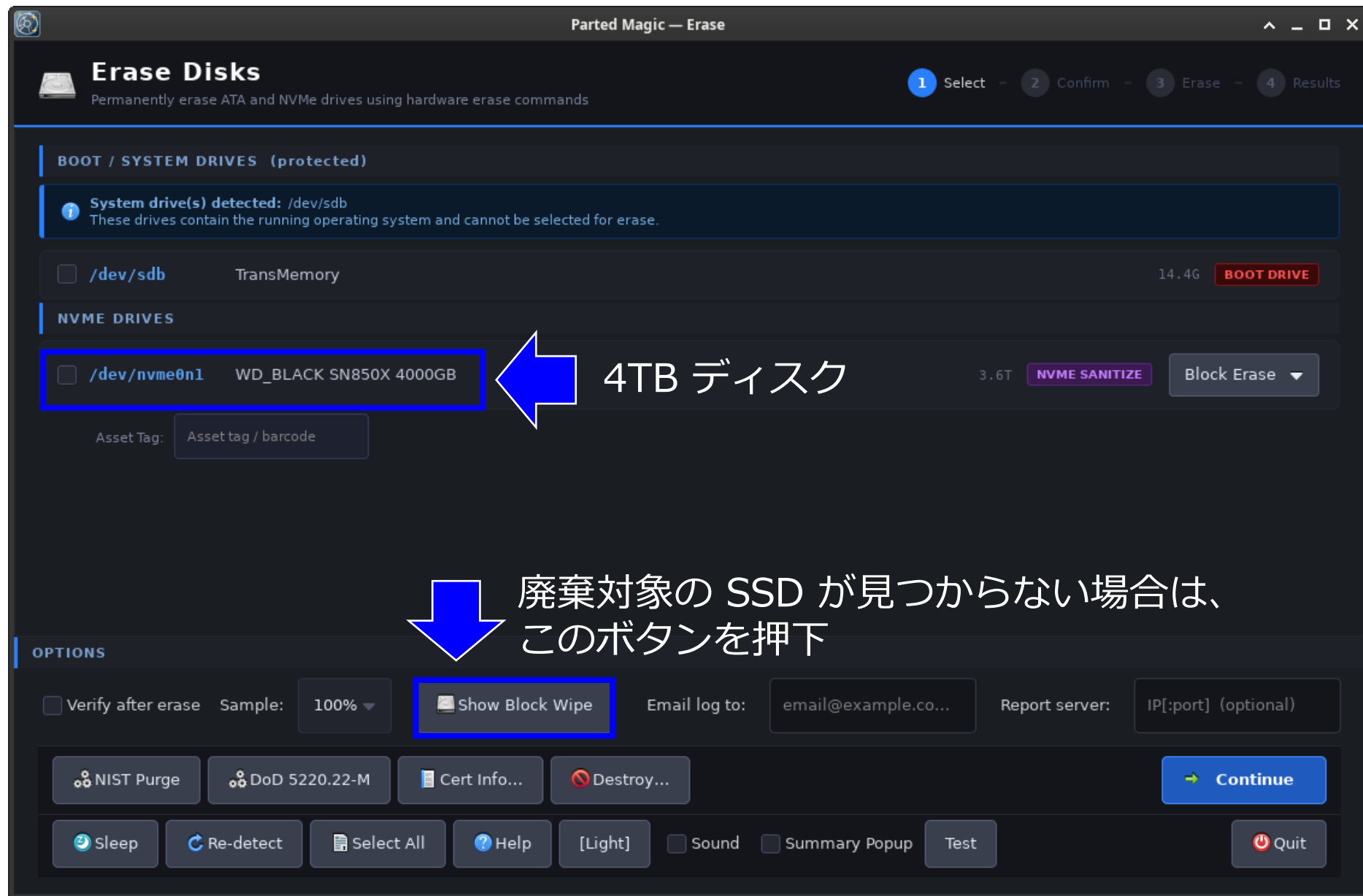
[Erase menu] を選択



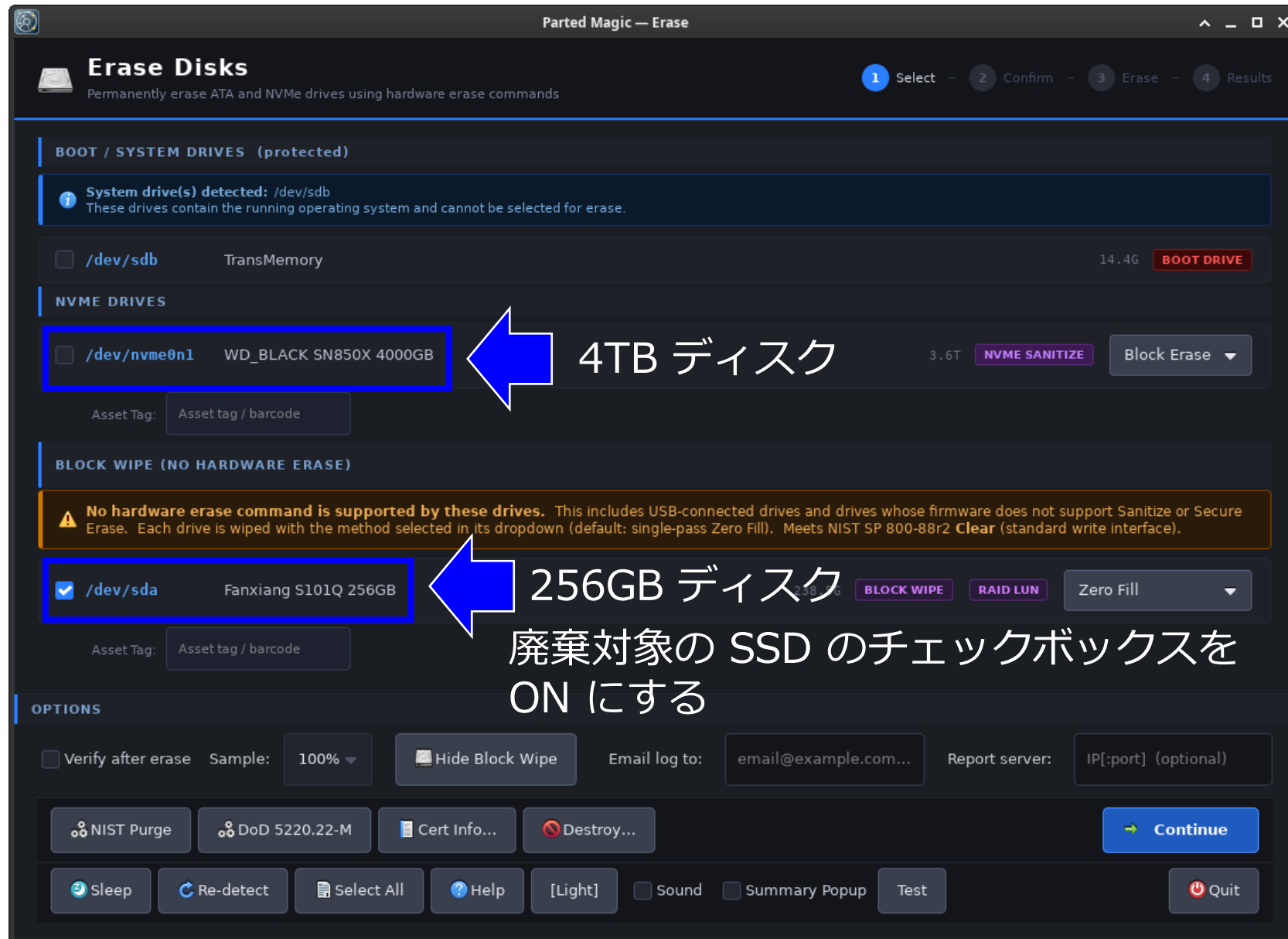
[Erase] を選択



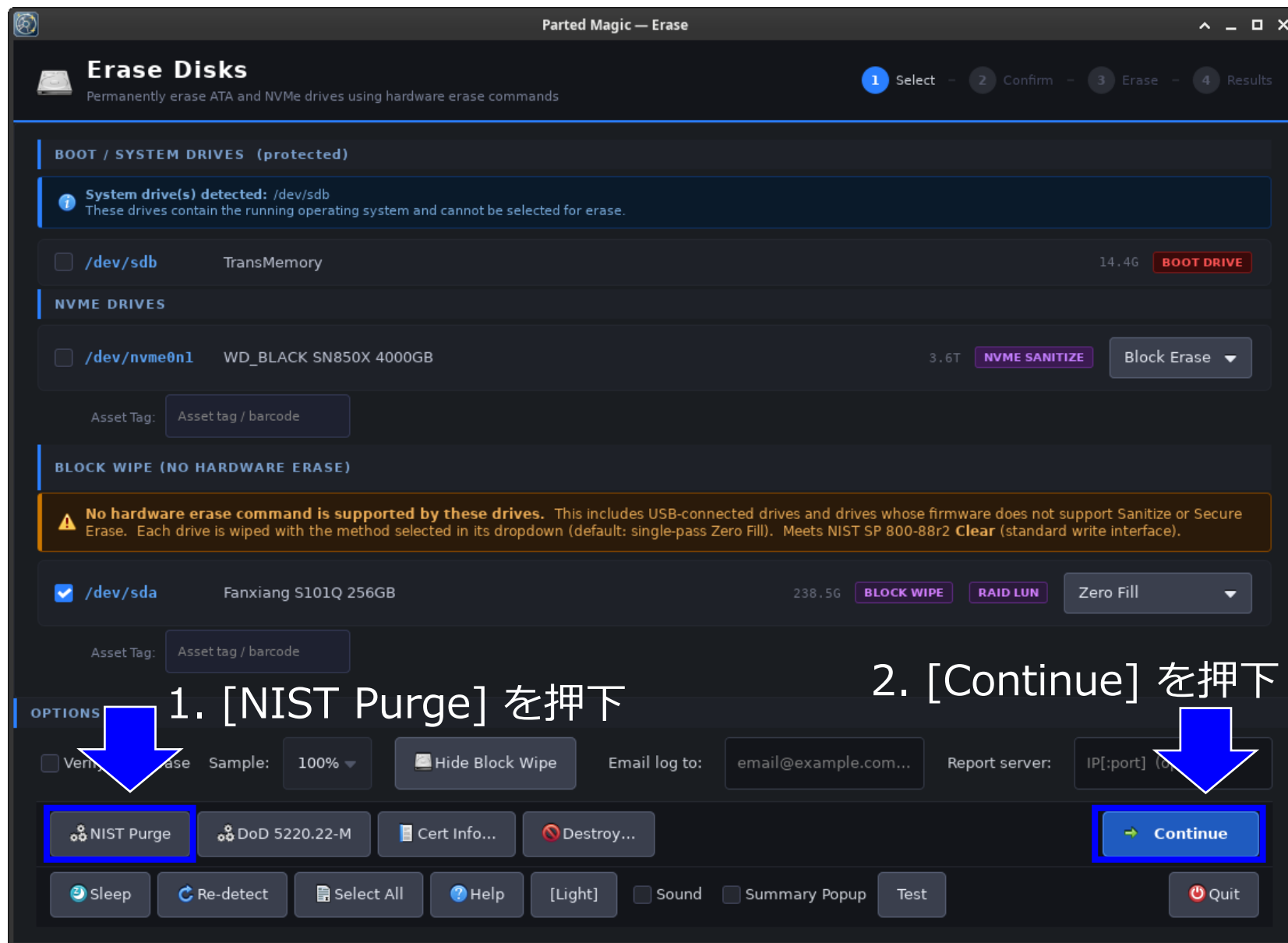
廃棄対象の SSD を探す



廃棄対象の SSD チェックボックスを ON にする



[NIST Purge] を押下



1. [NIST Purge] を押下

2. [Continue] を押下

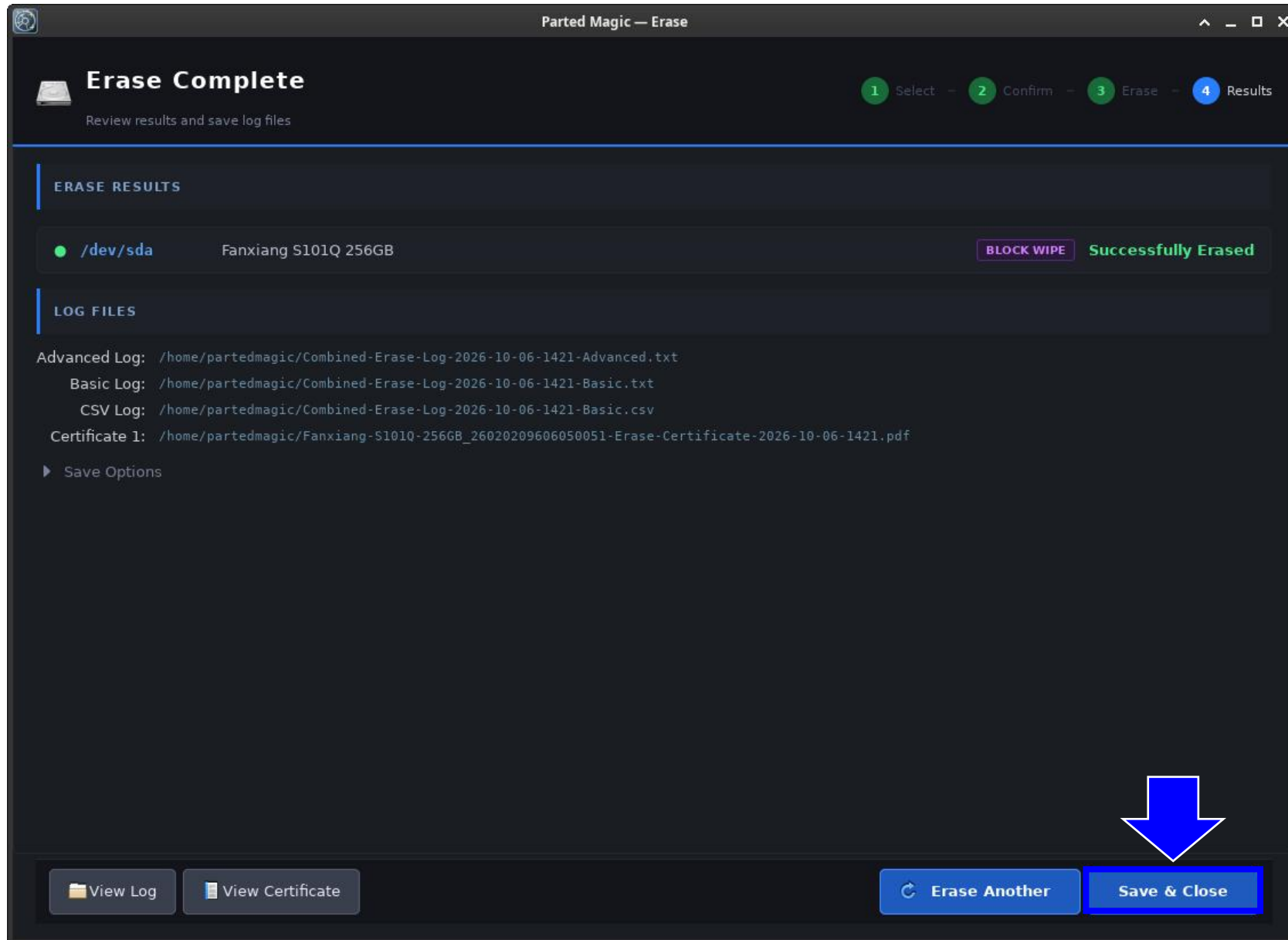
[Start Erase] を押下



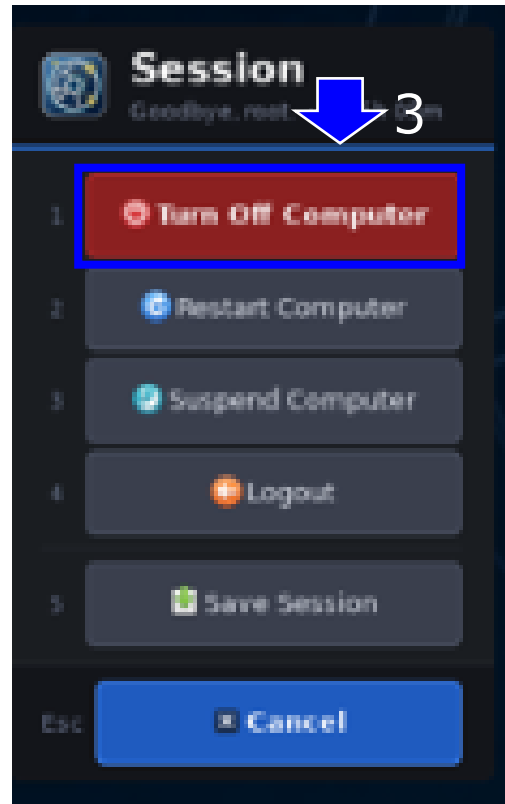
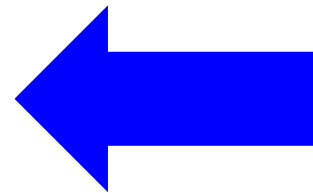
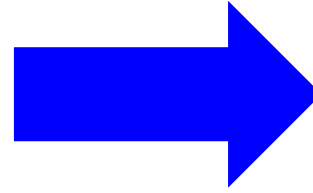
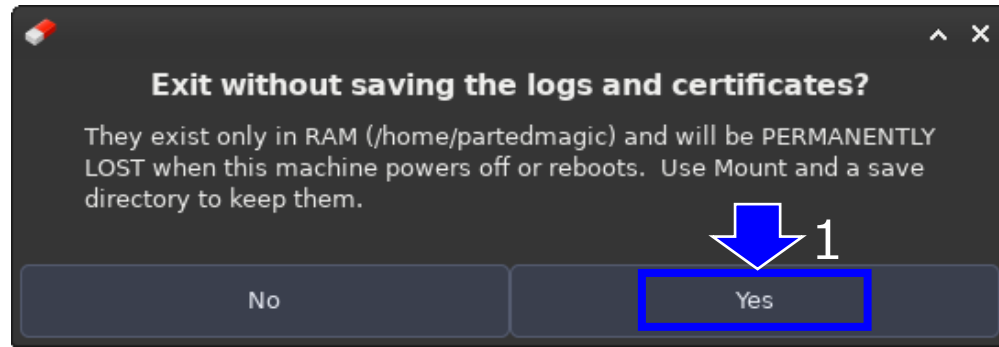
1. チェックボックスを ON にする

2. [Start Erase] を押下

データ消去完了 → [Save & Close] を押下



[Yes] → [Quit] → [Turn Off Computer] を押下



以上で、SSD のデータは安全に消去されました。
お疲れ様でした。